

令和8年砥部町成人式



1月11日に文化会館で、20歳を迎えた145人が成人式に集いました。会場には、旧友との再会に喜び合い、写真撮影や近況報告、思い出話などで笑顔があふれました。

オープニングでは砥部中学校邦楽部OBにより、今後の大きな飛躍を願う筝曲が披露され、式典では出席者を代表して、平岡愛梨さん（写真1）と渡部彰悟さん（写真2）が大人としての決意を述べました。

また、式典後には記念行事として劇団P.Sみそ汁定食による舞台公演「父と暮せば」が上演されました。

成人式 おめでとうございます



食で健康をつくる



11月29日、30日に保健センターで「親子食育クッキング」を行いました。参加した12組34人の親子は、食で健康をつくる力などの、食育の5つの力や朝食、薄味の大切さについて学び、食生活改善推進協議会のサポートを受けて、クッキングを楽しみました。参加した保護者からは「上手に包丁を使っていて、子どもの成長を実感した」「苦手なものも頑張って食べていた」「家の食事は野菜が少ないと感じた」などの声が聞かれました。

世界の若者らが「生命の碧い星」を見学



12月14日に国連創立80周年を記念して「一般社団法人 生命の碧い星」の一団が、国内外の学生らとともに砥部焼伝統産業会館を訪問されました。1995年に、町から国連欧州本部へ寄贈した、白磁の大壺「生命の碧い星」を見学され、平和への願いが込められた作品を前に、学生らは真剣なまなざしで、当時の人々の思いを受け止めていました。



「愛顔の保育士応援大使」来園



12月17日に愛顔の保育士応援大使でシンガーソングライターの「ちゃんゆ胃」さんが、砥部こども園を訪れ、園児と一緒に歌や質問コーナーで交流しました。ちゃんゆ胃さんが作詞作曲した保育士応援ソングの披露や、保育士との意見交換も行われ、現場でがんばる保育士を応援する機運を盛り上げました。

愛顔の保育士応援大使は、保育士確保に向け、社会全体で保育士を応援していく機運を高めるため、愛媛県が創設したものです。

砥部の歴史や文化を学ぶ



今年で8年目となる「砥部歴史探訪」を開催し、延べ120人が砥部の歴史や文化を学びました。

第1回 岩谷口ししまい体験

獅子舞の演目を見て説明を受けた後、実際に体験して楽しみました。

第2回 民話でたどる小さな旅～総集編～

寸劇や紙芝居、朗読を通して砥部町各地の民話を楽しみました。

第3回 奈良・平安時代の砥部町域の歴史・文化

古代の砥部町域と伊予砥について学びを深めました。

「うま味」の聖地へ 3市町連携「だしの十字路」構想、始動



12月24日に伊予市・松前町・砥部町が連携し、地域の「うま味(だし)」資産をブランド化する新プロジェクトが始まりました。3市町には、かつお節やいりこ、昆布など、古くから受け継がれてきた「だし」の文化と、それを日々の食に生かしてきた暮らしがあります。こうした地域に根付く食文化を改めて見つめ直し、磨き上げ、観光や商品開発、食の体験へとつなげていきます。

「町功労賞」表彰



1月5日に開催された町年賀交歓会において、城戸正明さん（高尾田）が町長から功労賞を授与されました。城戸さんは、砥部町少年少女発明クラブの指導員を20年間務め、児童・生徒への発明技術の指導を通して社会教育の振興に寄与されたことから、今回の受賞に至りました。

功労賞は、本町の公益の増進に寄与し、町政の振興・発展に尽力するとともに、町民の模範となる優れた功績をあげられた人を表彰するものです。

「親と子のよい歯のコンクール」優秀賞受賞



愛媛県と愛媛県歯科医師会が共催する「親と子のよい歯のコンクール」において、桑村あゆみさん・柚輝くん親子（高尾田）が、親子ともにむし歯がなく、歯並びがきれいであることが評価され、優秀賞を受賞されました。

あゆみさんは「バイキンやっつけよう！」などと声かけをし、ゲーム感覚で楽しく仕上げ磨きをする工夫を行っていると話されました。また、早くから歯科医院に通い、相談できる環境を整えていたことも、むし歯予防につながっているそうです。

「元気歯つらつコンクール」入賞



愛媛県と愛媛県歯科医師会が共催する「元気歯つらつコンクール」において、伊藤述史さん（高尾田）が入賞されました。

伊藤さんは、食後すぐの歯みがきを心掛けており、今も食べることに不自由を感じていないと話されました。

自身での日頃からの手入れに加え、歯科医院での検診などの専門的なケアを取り入れることで、健やかな口腔環境を保つことにつながります。80歳になっても使える歯が20本以上ある生活を目指して、むし歯予防・歯周病予防に心がけましょう。

「家族のきずなエッセイ」表彰式



愛媛砥部モラロジー事務所主催の第6回「家族のきずなエッセイ」において、町内小・中学校から寄せられた311点の作品の中から入賞作品5点、入選作品25点が選ばれ、表彰式が行われました。

2月16日㈪から22日㈰まで、文化会館ロビーにて作品展示を行います。また、町立図書館では入賞・入選作品が掲載された作品集を自由に閲覧できます。

入賞作品

砥 部 町 長 賞	「家族の思い」	富 岡 陽向さん
砥 部 町 教 育 長 賞	「家族の愛を感じた瞬間」	河 内 結菜さん
砥 部 町 PTA 連 合 会 賞	「いつも一位のお父さん」	中 越 春さん
モラロジー道徳教育財団賞	「ひいおじいちゃんの声をつなぐ」	岡 本 晟也さん
愛媛県モラロジー協議会賞	「かぞくのあいをかんじた時」	石 井 華さん